

2024 年 度 事 業 報 告 書

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

I. 事業**1. 概要**

前川財団は、家庭・地域社会の教育とりわけ日本の伝統的・文化的な家庭・地域社会の教育の研究及び実践を支援し、また、その精神を現代の子育て・教育環境に反映させていく方策の探求及び実践を通じて、失われつつある日本型共同体の再建を図り、そこで育まれた優秀な人材を世の中に輩出していくことをもって永続的な日本の発展に寄与し続けることを目的とし、次の事業を行った。

- (1) 家庭・地域社会の教育に関する研究及び実践の支援を目的とする助成
- (2) 家庭・地域社会の教育に関する普及及び啓蒙を目的とする研修会の開催

2. 実施状況**(1) 2024 年度助成事業**

2024 年 4 月 1 日よりホームページにて応募要項を公開し、大学、短大、教育関連諸学会及び各方面への広報活動を実施して助成事業の周知に努め、2024 年 8 月 1 日～8 月 29 日の期間で応募受付をした。

一次審査 2024 年 9 月 1 日～9 月 15 日を経て、最終審査会議 2024 年 9 月 23 日の選考委員会において合議の上、採択対象者を選定し、2024 年 9 月 27 日開催の理事会において承認された。

過去 3 ヶ年の応募・採択状況は下記の通りである。

年 度	区 分	応募件数	採択件数	助成金額(千円)	採択率
2024	実践活動助成	23	5	¥2,870	21%
	教育研究助成	138	32	¥22,350	23%
2023	実践活動助成	24	5	¥4,050	20%
	教育研究助成	122	24	¥18,440	19%
2022	実践活動助成	17	5	¥3,150	29%
	教育研究助成	115	26	¥16,990	22%

助 成 金 交 付 日	振 込 金 額	件 数
2024 年 10 月 4 日	¥ 11,620,000	18 件
2024 年 10 月 18 日	¥ 10,200,000	14 件
2024 年 10 月 25 日	¥ 400,000	1 件
2024 年 11 月 5 日	¥ 700,000	1 件
2024 年 11 月 18 日	¥ 900,000	1 件
2024 年 11 月 22 日	¥ 1,400,000	2 件
合 計	¥25,220,000	37 件

(2) 2024 年度研修会事業

オンラインセミナー「親性」ってなんだろう？ー子育てしやすい社会をめざして

開催日時：2024 年 11 月 23 日（土） 13:00～15:00

主催：公益財団法人 前川財団 参加費：無料

・講演：何が親を支えたのか？ 誰が子どもを育てたのか？ー昭和の「親性」環境

山名 淳氏 東京大学教育学研究科教授

・講演：子育てが「近代的」だったことはないーみんなの「自分事」へ

弘田 陽介氏 大阪公立大学文学研究科教授

・ディスカッション

コーディネーター 辻本 雅史氏（中部大学顧問）

セミナーアンケート集計（2024 年 11 月 23 日開催）

Q1 セミナーの感想		Q2 参加者の職業		Q3 セミナーの認知	
大変良かった	69%	教師・研究者	44%	財団案内	31%
良かった	25%	会社員・公務員・自営業	12%	財団HP	17%
普通	6%	主婦	3%	所属学会	17%
あまり良くなかった	0%	学生	10%	その他 ご紹介等	35%
良くなかった	0%	その他（保育士、大学職員等）	31%		

セミナーの感想
山名先生のご研究は、1960 年代の村共同体の記憶を想起する試みでしたが、こうした記憶を次世代につなげていくことの重要性を教えてくださいました。異なる属性の地域共同体も多いと思われますので、全国的に調査したり、また女性の立場から記憶を想起する調査があるといいと思われました。研究の手法も教えてくださいました。
社会全体での子育てに向かうように私のできることを少しずつやっていかないと。日々の実践からまだまだ社会で子どもを育てていこうとする意識がとても低いことを実感している。
地域と歴史を切り口にした子育て、とても腑に落ちました。研究会で共有し、これからの研究活動に活かしたいと思います。
親性という言葉を変えて考える良いきっかけとなった。次世代を育てるという意識をすべての人々が持つことが、親性につながると思う。
良い意味で、「親性」という言葉に対して私が持っていたイメージを覆されました。私は、「親が持つべき哲学やメンタリティ」というイメージを持っていたのですが、そうではなく、「すべての人が育児に対して宿すべきメンタリティ」のことなのだと、セミナー最後の辻本様のお話を聞いて思われました。
妊娠中のママ教室を開催しています助産師です。多くの情報から不安が増強し、選択できないで育児に突入していく困難さをみえています。少しでもネットワークを広げ共同養育の勧めをしていきたいと思っています。
子育てに思い悩む保護者の方々を支える保育園の果たす役割の大きさを改めて感じました。保育者一人ひとりが、質の高い「親性」を身に付けられるよう、研修の充実を図っていききたいと思っています。
親になることへの意識の醸成など、研究課題は多岐にわたると感じました。
保守的な内容ではなく、現代の出産・子育ての危機感をそれぞれの先生方も持たれた上での、現場や時代に即した研究で、とても参考になりました。
現代において考えなければいけない重要なテーマであり、難しいテーマだと思いました。

(3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

該当なし

3. 事業内容の変更

当財団は、公益目的事業の見直しに伴い、2024 年度をもって「研修会事業」を廃止し、2025 年度より新たに「調査研究事業」を追加いたします。本変更については 2024 年 8 月 7 日付にて内閣府より変更認定を受けております。これにより当財団の公益目的事業は「助成事業」と「調査研究事業」で構成されますが、いずれの事業においても、社会の変化により生じる多様な課題に対して感度を上げて取り組み、その成果を広く公益に還元することで、より実効性の高い公益事業の展開を目指してまいります。

II. 庶務・管理

1. 会議等に関する事項

理事会

開催日	議 事 事 項	結 果
第 1 回理事会		
2024.5.31	1. 2023 年度事業報告書の件 2. 2023 年度決算報告書の件 3. 公益目的事業の廃止及び追加に係わる変更認定申請の件 4. 定時評議員会開催の件 報告事項 ・理事長による職務執行状況報告	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
第 2 回理事会（決議の省略）		
2024.6.21	1. 理事長選定の件 2. 専務理事選定の件	理事全員の同意 監事の異議なし 理事全員の同意 監事の異議なし
第 3 回理事会		
2024.9.27	1. 2023 年度助成未使用金返還申請の件 2. 2024 年度助成選考結果の件 報告事項 ・理事長による職務執行状況報告 ・専務理事による職務執行状況報告	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
第 4 回理事会		
2025.3.5	1. 評議員会開催の件 2. 2025 年度事業計画書の件 3. 2025 年度収支予算書の件 4. 2025 年度資金調達及び設備投資の見込みの件 5. 2025 年度助成事業選考委員の選任の件 報告事項 ・理事長による職務執行状況報告 ・専務理事による職務執行状況報告	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決

評議員会

開 催 日	議 事 事 項	結 果
第 1 回評議員会		
2024.6.20	1. 2023 年度事業報告書の件 2. 2023 年度決算報告書の件 3. 理事 3 名選任の件 報告事項 ・公益目的事業の廃止及び追加に係わる変更認定申請について	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
第 2 回評議員会（決議の省略）		
2025.3.7	1. 定款変更の件	評議員全員の同意

2. 寄附に関する事項

2024 年 6 月 4 日 スイス連邦税務局より ¥95,468,690（2021 年、2022 年、2023 年分）の株式配当金に対して源泉徴収された税金の還付金を受領した。

2024 年 9 月 6 日 Mayekawa Holding AG より ¥88,188,245 の株式配当金を受領した。

3. 届出事項

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ① 内閣府：理事の変更届 | 2024 年 4 月 3 日 |
| ② 内閣府：変更認定申請 | 2024 年 6 月 11 日 |
| ③ 内閣府：2023 年度事業報告書等の提出 | 2024 年 6 月 21 日 |
| ④ 内閣府：理事の変更届 | 2024 年 7 月 4 日 |
| ⑤ 内閣府：2025 年度事業計画書等の提出 | 2025 年 3 月 6 日 |

Ⅲ. 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項

2024 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しない。